

5 生徒指導の重点

学習指導要領及び生徒指導提要の趣旨や内容を十分に踏まえた積極的な生徒指導を推進する。

【学習指導要領及び生徒指導提要の基本的な考え方】

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことであり、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的としている。

学校では、教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から学級経営の充実を図ることや、児童生徒が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、児童生徒理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ることが大切である。

1 学校全体で取り組む生徒指導の推進

指導の方針や基準を明確にし、教職員の共通認識のもと学校の教育活動全体を通じて積極的な生徒指導を展開する。

2 いじめ・不登校・暴力行為などの未然防止と早期発見・早期対応の徹底

いじめ・不登校・暴力行為の減少に向け、未然防止と早期発見・早期対応に努める。特に、いじめ・暴力行為に対しては毅然として対応するとともに、適切かつ迅速な初期対応に努める。

3 ネットトラブルの未然防止に向けた取組の推進

児童生徒に対する情報モラル教育を推進するとともに、保護者に対しフィルタリングの大切さや家庭におけるルールづくり等の啓発に努める。

4 学校と家庭・地域・関係機関との連携や学校種間の連携強化

生徒指導の方針・基準を家庭・地域に周知し理解を求め、児童生徒の健全な発達を促すための連携を強化するとともに、問題行動等への対応については関係機関との連携や学校種間における連携を強化する。

【本年度の重点】

- ① いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止を図るとともに、子どもが発する小さなサインを見逃すことなく積極的にいじめを認知し、いじめ対応アドバイザーの活用などにより、「いじめを見逃さない・風通しのよい学校づくり」を推進する。
- ② 不登校の未然防止・早期支援のため、教育相談の充実を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフと連携し、学校内の関係者がチーム学校として個に応じたきめ細かい支援に努める。
- ③ インターネット・携帯電話等の利用時における危険回避など、情報の正しく安全な利用を含めた情報モラル教育を保護者と連携し組織的に推進する。